

★誰一人取り残さない社会にするために、あなたができることやしなければならぬことを考えよう。(生徒の感想)

トライやる・ウィークに行く前は、あまりUDはないのかなと思っていましたが、事業所に行って探してみるとたくさんのUDがあり、工夫されていることに気が付きました。UDがあることで、例えば図や絵、ピクトグラムなどが使われていて、とても見やすかったです。今の自分では何か作るのは難しいことですが、心のUDはもっています。電車で困っている人がいたら声をかけて案内することで、その人が取り残されないようにすることに少し近づきます。誰かを助ける行動をたくさんの方がやったら、誰も取り残されない社会の大きな一歩になると思います。

私ができることはまだ少ないと思うから、初めにおかしいと気付くことを心がけていきたいです。例えば、車いすの人は行けるのかとか、みんなの人権が守られているか守られていないかを判断できるようにになりたいと思いました。一人ひとりがユニバーサルデザインに関心を持ち、思いやりの気持ちをもつことが第一に必要ななと感じました。

自分にできることは、見て見ぬふりをするのではなく、見たら声をかけていきたいと思いました。トライやるに行く前は、UDといえばシステムや道具ばかり考えていたけれど、行った後は少しの気遣いなどが大事だと思いました。

UDのシステムや道具だけに頼らず、人と人同士が相手のことを思いやり助け合うことで、誰一人取り残さない社会がつかれると私は思いました。これからは今まで以上に困っている人を助け、相手のことを尊重し、周りのことをも自分のことも大事にしながら生活していきたいです。

思いやりの心を持ち、誰もが安全に、公平に暮らせるように考えることが大事だと思います。おかしいことに気付くには、まず周りを見ることが大切なので、周囲に注意深く目を向けられるようになることから始めたいです。

障害のある人や外国人など困っている人がいたら、そういう人がいることを理解し、助け合っていくことが大切だと分かりました。私にできることは協力する気持ちをもつことです。誰一人取り残さない社会にするために、心のUDは人権を大切にすることだということを忘れず、見て見ぬふりをしないで、今日勉強したことを大切にしていきたいです。

誰一人取り残さない社会にするために私ができることは、周りを見て行動することです。まず、誰が取り残されているか気付き、確かめて、その人に何ができるかを考えないといけないと思います。そして必要な設備を取り入れたりするといいと思います。設備を取り入れるのは私たちにはできないけど、考え方を変えたり別の方法を工夫したりすることはできると思います。

誰一人取り残さない社会にするためには、一人ひとりがしっかり行動していくことが大事だと思います。思うことはできても行動することができる人は少ないと思います。だから、まず自分から行動し、周りの人に広めるのが大切だと思います。みんなが協力し合える雰囲気を作ることで、誰一人取り残さない社会を作れると思います。